≪報告≫　第1回　学校評議員会

６月２０日（木）本校フレンドルームにて、第１回学校評議員会を実施しました。

学校評議員は、いすみ市の「小学校及び中学校管理規則」に基づき設置されており、当会議では学校、地域社会、家庭との連携促進等を目指し、学校運営について様々な角度から意見交換を行っているものです。

今回、５名の方々に委嘱状を交付し、本校教育活動の概要説明をしました。その後、校内を巡回し、施設・設備状況、児童の学習の様子を御覧いただいた上で意見交換を行いました。

【令和６年度学校評議員（敬称略・順不同）】

・佐久間廣幸　さま　地域住民（小池区長）
・田中　正己　さま　地域住民（小沢区長）
・市原　茂子　さま　有識者（元小学校教員）
・小山　幸夫　さま　本校教育振興会副会長
・石井　栄子　さま　本校教育振興会副会長

【本校出席者】

・佐久間　圭一　校長　・田中　康士　教頭

【評議員からの主な意見】（⇒本校からの回答）

≪教育活動全般について≫

○少人数だが、子供たちは中学校に進学しても気後れしている印象はない。大人の目の届く中で育っている（指導を受けている）ので、きちんとした態度が身に付いている。

○小規模校の良さを生かした教育活動が行われている。浪花小学校の良さを校外にも積極的に発信してほしい。教育活動の良さを周知できれば、転入者が増えるのではないか。

○小規模校なので、教職員１人当たりの業務量の負担が大きいのではないか。

⇒　確かに大規模校に比べると、１人当たりの分担は多くなる。ただ、本校児童はとても落ち着いた生活態度であり、生徒指導に費やす時間は、他校に比べ、少ないように感じる。また、少人数のため、丸付け等も短時間で処理できている。

⇒　今年度からスクールサポートスタッフ、算数専科が配置されているので、業務負担が軽減されている。引き続き、教職員が子供と向き合える時間を確保したい。

（右上に続く）

≪安全について≫

○正門前の石碑の基礎が歪んでいる。大規模な地震がきたら危険。

⇒　いすみ市教育委員会に報告済み

○正門前のＵ字溝の蓋に大きな隙間があり、危険。市道のため、地域住民の立場からいすみ市に連絡する。

（隙間に木材を埋め込み対応いただいた）

○毎日、２名のスクールガードが交差点に立ってくれている。ただ、御高齢のため、お二方の安全も心配である。スクールガードはいなくてはいけないのか。

⇒　義務はない。いすみ市のスクールガードとして登録しており、ボランティアで活動いただいている。また、保険にも加入している。

⇒　安全面を考慮し、特に悪天候の日などは、活動を控えていただくよう伝える。

≪学習の様子について≫

○運動会ではたくさんの笑顔が見られたが、授業を参観したところ、教職員、児童ともにおとなしいように感じた。

○学校教育目標にもあるように、ぜひ「笑顔・元気・やる気」いっぱいを目指してほしい。

○今は「自分で考え、表現する力」が求められている。教師と児童が向き合ったまま展開する学習だけではなく、例えば、机の向きを変えて意見交換をしたり、自分の考えを主張したりするような場面も積極的に取り入れるべきだと思う。

○礼儀正しく座って話を聞く態度は良い。しかし、一方で指示がなければ、自分から動けない姿も目立つ。授業を通して、自ら考え、実行する態度を身に付けさせてほしい。

⇒　課題として受け止める。

⇒　最近では、ＩＣＴを活用し共に学び合う学習も求められている。そこで、今年度から全学級に可動式大型モニターを設置した。現段階では、ＩＣＴを用いた学び合いには至っていないが、推進に努めたい。

以上のような貴重な御意見や御感想を頂戴しました。いただいた御助言を真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしてまいります。

≪報告≫　第2回　学校評議員会

１１月１５日（金）本校フレンドルームにて、第２回学校評議員会を実施しました。
今回は４名（欠席１名）の委員に、「学校評価アンケート」（１学期実施）の結果を学校側から説明させていただき、それらをもとに意見交換を行いました。
その後、家庭教育学級（睡眠教室）を参観、給食試食会にも参加いただきました。

【第２回学校評議員会参加者】
・佐久間廣幸 さま　地域住民（小池区長）
・市原　茂子 さま　有 識 者（元学校教員）
・小山　幸夫 さま　本校教育振興会・副会長
・石井　栄子 さま　本校教育振興会・副会長
【本校出席者】
・佐久間　圭一　校長・田中　康士　教頭

【〇評議員からの主な意見】（⇒本校の回答）

≪生徒指導について≫

〇全国的に不登校児童が増加傾向にあるが、本校の状況はどうか。
⇒　不登校の児童はいない。
〇国などは「学校を休むこと」も選択肢の一つと、肯定的な見方をしているようであるが、学校には登校すべきだと考える。
〇不登校になる要因は何だろうか。
⇒　様々な要因が考えらえるが、多くは「人間関係の悪化」が根底にあると考える。友達との関係、教職員との関係など。
⇒　ＳＮＳ等の普及により、対面でのやりとりを敬遠する者もいると聞いている。それにより人間関係が希薄になるケースもある。
〇コロナの影響からか、今でもマスクを着用している児童が多い。自分を抑え込み、100％の気持ちで人と向き合わなくなっている気がする。自分をさらけ出して自身を表現することも大切だと思う。
（マスクの着脱について）学校からアプローチはできないのか。
⇒　強制はできない。体育や運動時などは、自然な呼吸ができるようにするため外すよう声掛けをしている。　（右上に続く）

〇（アンケート結果から）「学校は、気軽に相談できる雰囲気があるか。」の設問で肯定的な回答が減っている。不登校や人間関係などのトラブルに発展しないよう、日頃から相談しやすい雰囲気の構築は重要で、大人の大切な役目だと考える。
⇒　いじめ等が起きないよう、全職員が未然防止を意識している。「兆し」を見かけたら、早期対応を心掛けている。

≪情報モラル教育について≫

〇インターネット普及によりメディアから子供を切り離すことは難しい。情報の取捨選択等、正しい取扱いを教える方が現実的である。
〇ＳＮＳ等による問題が起きないよう、各家庭が責任をもって児童を見守る必要がある。
⇒　今年度から市の事業で情報モラル教育として、本校児童を対象に市ＩＣＴ支援員が出前授業を実施する予定である。

≪学校の統廃合について≫

〇本校は児童数が減少傾向にあるため、学校存続について今後の動向が気になる。
⇒　市広報誌（１０月号）に学校の統廃合について市長が考えを述べていた。地域住民等の考えも参考にするなど、児童数の増減といった理由だけで、統廃合を行うものではないと認識している。

≪「あいさつ」の重要性について≫

〇（アンケート結果から）「児童は、その場に応じた適切な挨拶ができているか。」の設問に対し、保護者と教職員の回答にずれが生じている。教職員は、児童は挨拶ができていると考えているようだが、一保護者として、今後も積極的な挨拶を促したい。
〇街中や下校途中の子供などから元気よく挨拶されると気持ち良いものである。「見守ってあげよう」という気持ちになる。
⇒　場に応じた挨拶については、今後も引き続き指導する。

いただいた御助言は真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしてまいります。

≪報告≫　第3回　学校評議員会

２月２８日（金）本校フレンドルームにて、第３回学校評議員会を実施しました。
今回は「学校評価アンケート」（後期分）の結果を学校側から説明し、それらをもとに意見交換を行いました。
その後、６年生を送る会を参観していただきました。
御助言いただいた内容を真摯に受け止め、今後の教育活動等に生かしていまいります。

【第３回学校評議員会参加者】
・佐久間廣幸 さま　地域住民（小池区長）
・田中　正己 さま　地域住民（小沢区長）
・市原　茂子 さま　有 識 者（元学校教員）
・小山　幸夫 さま　本校教育振興会・副会長
・石井　栄子 さま　本校教育振興会・副会長

【本校出席者】
・佐久間圭一 校長・田中　康士 教頭

意見交換の概要

（・評議員からの主な意見等）（⇒本校の回答等）

①児童と教職員の関わり方について

・保護者アンケートの自由記述欄に「先生と生徒の関係において、友達感覚が強い」とある。確かに昔は、「先生は目上の人なんだ。」という意識が高かった。
・最近は、親子の関係も同様のこと（距離感が近い）が言えるのではないか。
・距離感の取り方は難しいと感じる。一線を越えてはならないが、親しくしようと先生から寄り添うことは大切である。
⇒　「友達感覚が強い」ことについて
自由記述欄に具体的な場面が記載されていなかった。ただ、「教育的な立場を明確」にし、「健全な関係を築く」ことは重要なので、本件は職員間で共有した。

②家庭学習について

・比較的評価の高い教職員アンケートの中で、唯一、大幅な降下が見られる。
・確かに家では、スマホやゲームなどをして過ごす時間が長いと感じる。
・スマホやゲーム機などを使って、学んでいる子もおり、一概に悪いこととは言えない。
⇒　学級担任からは、宿題をやらない児童が数名いるとの報告を受けている。
・「やるべきことをやらない」というのは良くないと思う。それが習慣化すると、社会に出てから周囲が困る。
・習い事があるなど、帰宅後の過ごし方は、人それぞれ状況は異なると思う。ただ、勉強をする時間があってもよい。
・宿題の内容も意味のあるものにすべき。
⇒　児童アンケートでも家庭学習に関する評価が低かった。
児童が「学びたい」とか「やらなければ」と思えるような内容にしたい。
タブレット等、児童が親しみやすい媒体を活用した課題も取り入れたい。

（右上に続く）

③学校からの情報発信について

⇒　保護者アンケートで「学校は、教育方針や教育活動の内容を分かりやすく伝えていると思いますか。」の評価が　急に下がってしまった。（昨年度までは９０％を下回ることがなかった。）原因は何だと感じるか。
・保護者等は、浪花小のホームページを見ているのだろうか。
・私立学校などでは、ＳＮＳで学校の様子を配信している。
・ホームページを見る前に、親が子供から学校での出来事などの情報を得ている場合もある。
・ホームページ以外の発信方法として、ＳＮＳ等の活用は、学校独自で行ってもよいのか。
⇒　ＳＮＳ等の活用について検討したことがない。ただ、ホームページに比べ、情報の広がり方が早いため、市教育委員会に事前の相談が必要と考える。

④学校評価　集計後の取扱いについて

・結果と考察をどのように周知しているのか。
⇒　本校ホームページから閲覧できるようにしている。保護者へ２次元コードを送付し、ＷＥＢ上で閲覧できるようにしている。
児童には、説明等は行っていない。
・学校評価の結果は大事なので、ぜひ、多くの保護者に内容を確認してもらいたい。

⑤市スクールバスについて

・現在、大原台地区の児童を輸送しているスクールバス（ワゴン車）を大原中学校まで出してほしいという声が上がっている。
・大原中学校に電車で通学するとしても、浪花駅までや大原駅から中学校までなどの行き来が大変そう。

⑥児童の心身の健康について

・教職員アンケートの項目「児童は、心身ともに健康で、優しさや思いやりの心が育っている」が良い結果で安心した。
今後も優しさや思いやりの心が育まれるよう、引き続き指導してほしい。